

○文部科学省告示第二号

海外の美術品等の我が国における公開の促進に関する法律（平成二十三年法律第十五号）第三条第一項の規定に基づき、強制執行、仮差押え及び仮処分をすることができない海外の美術品等を次のとおり指定したので、同条第四項の規定に基づき公示する。

平成二十九年一月二十四日

文部科学大臣 松野 博一

<p>指定をした海外の美術品等（以下「指定美術品等」という。）の名称</p>	<p>指定をした日</p>	<p>指定の有効期間</p>	<p>指定美術品等を公開しようとする者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名</p>	<p>指定美術品等を公開する予定の施設の名称及び所在地並びに指定美術品等を公開する予定の期間</p>
<p>スラヴ叙事詩 原故郷のスラヴ民族 （「トウーラニア族の鞭とゴート族の剣の間に」）</p>	<p>平成二十九年一月二十四日</p>	<p>平成二十九年二月一日から同年六月三十日まで</p>	<p>日本放送協会事業センター 事業センター長 大美 慶昌 東京都渋谷区神南二―二―一 国立新美術館 館長 青木 保 東京都港区六本木七―二十二―二 株式会社NHKプロモーション 代表取締役社長 旭 充 東京都渋谷区神山町五―五 NRビル 株式会社朝日新聞社 企画事業本部長 市村 友一 東京都中央区築地五―三―二</p>	<p>国立新美術館 東京都港区六本木七―二十二―二 平成二十九年三月八日から同年六月五日まで</p>
<p>スラヴ叙事詩 ルヤーナ島でのスヴァントヴィート祭 （「神々が戦いにあるとき、救済は諸芸術の中にある」）</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>
<p>スラヴ叙事詩 スラヴ式典礼の導入 （「汝の母国語で主をたたえる」）</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>
<p>スラヴ叙事詩 ブルガリア皇帝シメオン1世 （「スラヴ文学の明けの明星」）</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>

<p>スラヴ叙事詩 ボヘミア王プジエミスル・オタカル2世即位 (「スラヴ王族の統一」)</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>
<p>スラヴ叙事詩 東ローマ皇帝として戴冠するセルビア皇帝ステファン・ドウシャン (「スラヴ法典」)</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>
<p>スラヴ叙事詩 クロミエジージュのヤン・ミリーチ (「言葉の魔力」―娼館を修道院に改装する)</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>
<p>スラヴ叙事詩 グリユンヴァルトの戦いの後 (「北スラヴ民族の連帯」)</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>
<p>スラヴ叙事詩 ベトレヘム礼拝堂で説教をするヤン・フス師 (「言葉の魔力」―真理は打ち勝つ)</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>
<p>スラヴ叙事詩 クジーシュキでの集会 (「言葉の魔力」―ウトラキスト派)</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>
<p>スラヴ叙事詩 ヴイートコフ山の戦いの後 (「神は力ではなく、真理を表す」)</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>
<p>スラヴ叙事詩 ヴオドニヤヌイ市近郊のペトル・ヘルチツキー (「悪に悪で報いるな」)</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>	<p>同右</p>

<p>スラヴ叙事詩 フス派のポジェブラダイ とクンシュタートのイジー王 （「権威を求める争い―民主政の国王イ ジーと神政のローマ」）</p>	同右						
<p>スラヴ叙事詩 ミコラーシユ・シユヴィ ツチ・ズリンスキーによるシゲットの対 トルコ防衛 （「キリスト教世界の盾」）</p>	同右						
<p>スラヴ叙事詩 イヴァンチツェの兄弟団 学校 （「クラリツェ聖書の印刷」）</p>	同右						
<p>スラヴ叙事詩 ヤン・アーモス・コメン スキーのナールデンでの最後の日々 （「希望の明滅」）</p>	同右						
<p>スラヴ叙事詩 聖アトス山 （「正教会のヴァティカン」）</p>	同右						
<p>スラヴ叙事詩 スラヴ菩提樹の下でおこ なわれるオムラディナ会の誓い （「スラヴ民族復興」）</p>	同右						
<p>スラヴ叙事詩 ロシアの農奴制廃止 （「自由な労働は国家の礎」）</p>	同右						
<p>スラヴ叙事詩 スラヴ民族の神格化 （「スラヴ民族は人類のために」）</p>	同右						

警護―ホツトの人々	同右	同右	同右	同右
《同胞のスラヴ》第一幕「アルコナの収穫祭―家」	同右	同右	同右	同右
《同胞のスラヴ》第二幕「聖霊降臨祭」	同右	同右	同右	同右
《同胞のスラヴ》第四幕「フス派の王」	同右	同右	同右	同右
《同胞のスラヴ》第五幕「国民とスラヴ民族の友好（国民劇場の船）」	同右	同右	同右	同右
《同胞のスラヴ》第五幕「国民とスラヴ民族の友好（ソコルの船）」	同右	同右	同右	同右
《同胞のスラヴ》第五幕「国民とスラヴ民族の友好（民族衣装の船）」	同右	同右	同右	同右
『主の祈り』（仏語版）装飾ページ	同右	同右	同右	同右
『主の祈り』（仏語版）挿絵ページ	同右	同右	同右	同右